

きりゅうおけ  
桐生桶



■沿革・特徴

初代が明治末期に桐生で桶専門店として創業して以来、現在に至るまで造り酒屋用の大型桶から湯桶等の小物まで、幅広く手掛けている。

杉や檜、サワラなどの木片（桶子）を銅たがで結んだ桶は、木の香りと肌合いが好まれ、多くの人々の間で親しまれている。

■主な製品

木風呂（15万円から）  
片手桶（5,000円～8,000円程度）  
寿司飯台（1万円～4万円程度）  
花手桶（18,000円～3万円程度）  
風呂椅子（4,000円～7,000円程度）

■製造者名

鈴木風呂店

■住所

〒376-0042  
桐生市堤町 2-3-14

■問い合わせ先

TEL 0277-22-0742  
FAX 0277-22-0742

つきよのきりだんす  
月夜野桐箆笥



■沿革・特徴

桐材は、木肌が上品で、軟らかく、軽いといった収納家具の素材として適材ともいえる特徴を持っている。

月夜野桐箆笥は、1917年（大正6年）の創業以来、常に材料にこだわりながら、伝統の技を守り続けるとともに、現在では、現代風のデザインも取り入れ、人気を呼んでいる。

■主な製品

桐箆笥（15万円～55万円程度）

■製造者名

桐匠根津  
（根津 公安）

■住所

〒379-1313  
利根郡みなかみ町月夜野 262

■問い合わせ先

TEL 0278-62-2715  
FAX 0278-62-1757

いりやま ばち  
入山こね鉢



■沿革・特徴

メンバと並ぶ六合地区の伝統的な木工製品として文化文政時代から製作されてきたこね鉢は、地元の豊富な原木(トチノキ)をもとに入山地区の冬期の副業として発展してきた。

入山こね鉢は、ロク口を使わないのが特徴であり、以前は職人が山に入り、小屋で越冬して製作していた。

■主な製品

こね鉢 (18,000 円程度から)

■製造者名

関 千代衛

■住所

〒377-1701

吾妻郡中之条町大字入山 2358

■問い合わせ先

TEL 0279-95-5172

FAX 0279-95-5172

みくにさしもの  
三国指物



■沿革・特徴

現製造者である田村氏が東京深川で江戸指物の修行を積んだ後、故郷の新治地区で指物業を開業したのが始まりである。厳しい自然に育てられた地元産の桐、樺、桑、黒柿等の素材を充分に生かし、外から見えないところほど技術を駆使した製品は、地元のみならず県外からも注文が絶えない。

■主な製品

和茶単筒、桐単筒、長火鉢、仏壇、民芸単筒  
その他注文に応じます。

■製造者名

田村 廣

■住所

〒379-1411

利根郡みなかみ町新巻 1811

■問い合わせ先

TEL 0278-64-0091

FAX 0278-64-0091

いせききりはこ  
伊勢崎桐箱



■沿革・特徴

桐箱は、抗菌性が高く、火に強く燃えにくく、湿度を一定に保とうとする等の特徴があり、乾燥や湿気に弱い物品を保存する際に用いられている。

製造者である関口勝三郎氏はタンス店での桐単筒製造を経て、1973年から桐箱製造を開始した。

県内には、桐箱を専門に製造する業者は少なく、確かな技術力のため、全国から注文がある。

■主な製品

陶芸用桐箱、鉢用箱、軸箱、  
その他(ケース類)

■製造者名

関口桐箱店  
(関口 勝三郎)

■住所

〒372-0801  
伊勢崎市宮子町 3342

■問い合わせ先

TEL 0270-23-2119  
FAX 0270-23-2104

きりゅうたけざいく  
桐生竹細工



■沿革・特徴

明治初期に初代が大間々で創業、昭和4年現在の地に移り住む。当初は農具の生産も行われていたが、3代目となった現在は、生活用品を主に生産している。真竹を使用し、数種類の編み方、縁仕上げにより作られる製品は、工芸品にふさわしい。

■主な製品

魚籠、手下げ籠  
(17,000円～25,000円程度)  
丸しようぎ、亀の子しようぎ、花籠  
座間籠(6,500円～17,000円程度)

■製造者名

金子竹工藝

■住所

〒376-0023  
桐生市錦町 3-4-45

■問い合わせ先

TEL 0277-45-0756